

# 日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

## 2021年12月8,10日 中医協総会(病院薬剤師) 「個別事項 (その8,9)」 ～医療機関における薬剤師業務に係る評価について～

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4828号 長岡俊広  
日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美

参考資料：2021年12月 8日 中医協総会資料「個別事項（その8）」  
2021年12月10日 中医協総会資料「個別事項（その9）」

・次期診療報酬改定に向けて、中医協総会においてテーマごとに議論され、論点整理が進んでいます。10月より個別・具体的な検討・議論（いわゆる第2ラウンド）が開始され、例年、年明け1月に諮問、2月に答申、3月初旬に告示が行われます。

資料No.20211215-1168

本資料は、2021年12月10日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます

- ・12月8日は、厚生労働省側より「個別事項（その8）」の中で「働き方改革の推進について（その2）」について課題が示されました。また12月10日には「個別事項（その9）」として「技術的事項（その2）」について課題が示されました。
- ・こちらの資料では病院薬剤師に関わる内容として、「働き方改革の推進について（その2）」の中から『周術期における薬学的管理業務』、『病棟薬剤業務実施加算について』を、「技術的事項（その2）」からは、『周術期疼痛管理について』をピックアップしました
- ・今後の議論のポイントとなりそうな課題を抜粋し、総会で **支払側（1号）** **診療側（2号）** の各委員から述べられた意見を要約しています。

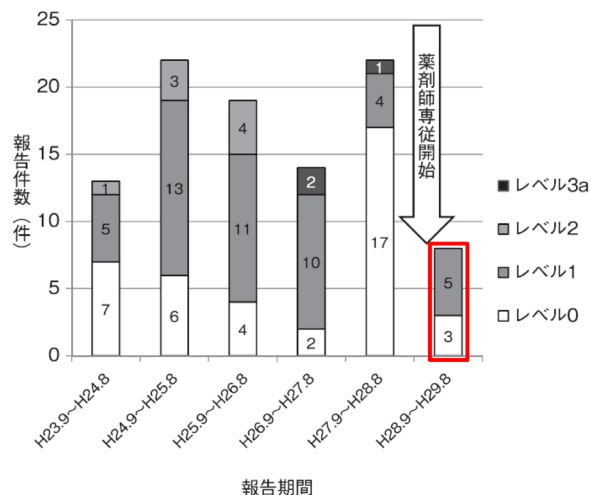
## 周術期の薬剤師業務はどのような項目で評価されるか

- 周術期における薬学的管理業務に薬剤師を活用することの評価の在り方について、どのように考えるか。

### 医療安全の効果

- 薬剤師専従後、薬品関連のインシデント・アクシデント報告件数は減少した。

手術室における薬品関連のインシデント・アクシデント報告の推移



レベル0：間違っただけが発生したが、患者には実施されなかった。  
 レベル1：間違っただけを実施したが、患者には変化が生じなかった。  
 レベル2：事故により患者への継続的な観察の強化が必要。  
 レベル3a：簡単な処置や治療を要した。

#### 【介入】

平日午前8時30分～午後5時の終日（昼休憩1時間を除く）、担当薬剤師1名がローテーションにより手術室に専従し、主に①～④の業務を行った。

- ①麻薬管理業務
- ②毒薬・向精神薬・血液製剤管理業務
- ③その他の薬品の定数薬品管理業務
- ④薬学的管理業務

#### 【方法】

薬剤師専従前5年間と、専従後1年間の手術室における薬品関連のインシデント・アクシデント報告件数と報告事例を比較

- 専従、専任・兼務で関与している割合  
 専従 : 5.5%  
 専任・兼務 : 94.5%

#### 診療側意見【医師委員】

- ・周術期に薬剤師が関与することで業務の効率化に大きく寄与しており、評価に賛成する

#### 診療側意見【薬剤師委員】

- ・医療安全もしくはタスクシフトシェアの観点から薬剤師が貢献しており、周術期における薬剤師の取組の評価を検討頂きたい

#### 支払側意見

- ・周術期における業務を薬剤師が担うことで医療の安全性が向上するのであれば、評価することに異論はない
- ・評価する際には、兼務の割合が高い実態等も考慮すべきである

【出典】日江井和英他 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院薬剤部 1, 看護部2, 麻酔科3, 外科4 地方中核病院における手術室専従薬剤師業務の取り組みとアンケート調査結果 Vol.54No.12 2018日本病院薬剤師会雑誌

### MPSコメント

- ・周術期における薬剤師の介入については、診療側は効率化や安全性向上について高く評価しており、支払側からは効果のある業務については評価することに異論は出ていないため、評価する方向で検討が進められていくと思われます
- ・評価の方法として病棟薬剤業務実施加算や薬剤管理指導料が考えられますが、現時点ではどのような形での評価となるかはわからない状況です

本資料は、2021年12月10日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

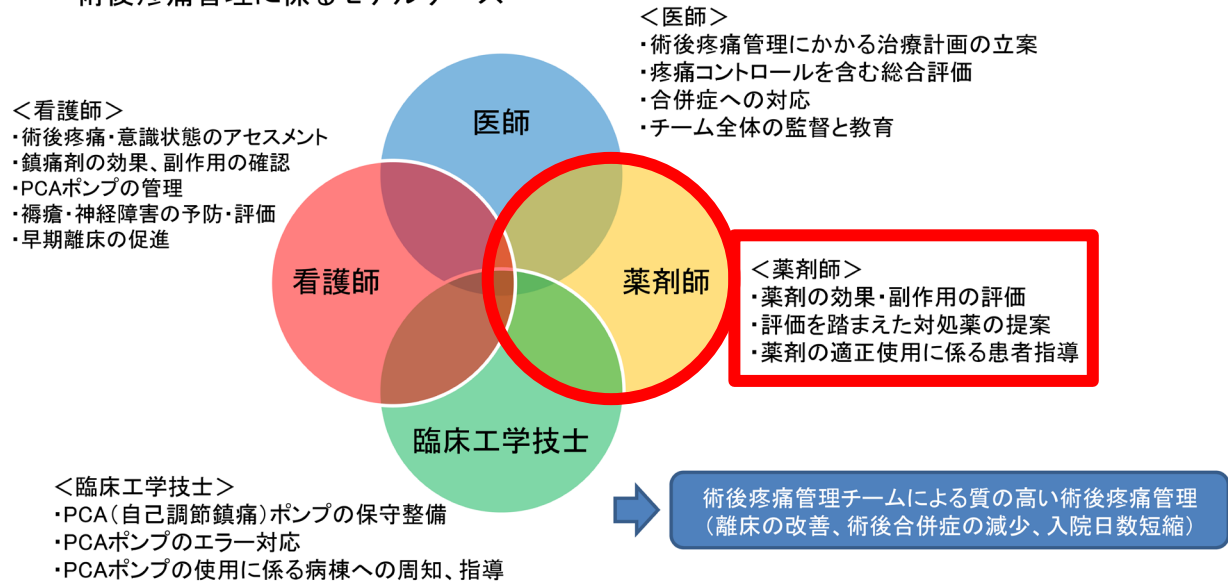
## 術後疼痛管理チームの評価に薬剤師要件が含まれるか

課題：術後疼痛管理チームの介入により、疼痛スコアの減弱、合併症の減少、在院日数の短縮等が期待される一方で、対象患者は増加している。  
 増加する対象患者に対して疼痛管理チームを編成することで、良好な鎮痛が可能となり、麻酔科医や外科医、看護師の業務は他の医療関係職種へのタスク・シフト/シェアが可能となっている。

### 術後疼痛管理の適切な推進について

- APSの活動条件として 1) 24時間対応できる術後痛の管理、2) 鎮痛薬・鎮痛方法(自己調節鎮痛法:PCAなど)の標準化(プロトコル)、3) 管理内容の記録、4) 多職種で構成されたチームの編成等があげられている。
- APSを構成するメンバーとして、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士等から編成され、周術期管理の一環として質の高い術後疼痛管理等ができるよう育成し、知識や理解のレベルアップが図られる仕組み(周術期管理チーム認定制度)が進められている。

#### 術後疼痛管理に係るモデルケース



Acute Pain Management 5th edition  
 周術期管理チーム認定制度HP(<https://public.perioperative-management.jp>)を参考に保険局医療課において作成

### 診療側意見【医師委員】

・術後疼痛管理チームによる管理は非常に重要で、評価頂きたいが、**チーム構成は医療機関ごとに異なるため、現場ですすでに行われている取り組みが評価されるよう、施設基準を検討して頂きたい**

### 支払側意見

・多職種チームの介入によって、痛みの軽減や合併症の抑制といった効果があるのであれば、**急性期の病棟でこうした取り組みを広げることによって、医療の質が向上するのではないか**

### MPSコメント

・術後疼痛管理におけるチーム医療への評価については、診療側、支払側共に効果を認めており、評価導入の方向で検討されると思われます

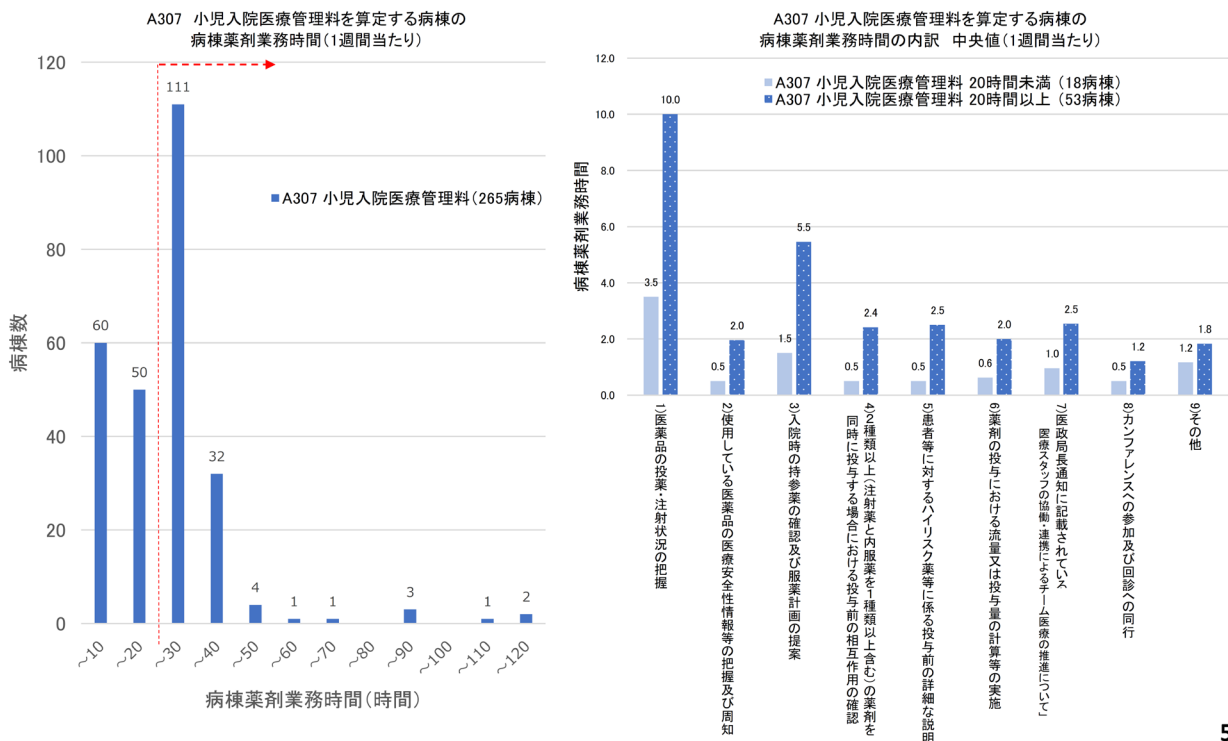
・モデルケースでは、チーム構成に薬剤師が含まれていますが、実際のチーム構成は医療機関ごとに異なることが指摘されており、チーム医療のメンバーとして薬剤師が含まれるかが注目されます

## 加算の対象病棟はどこまで拡大されるか

●小児入院医療管理料を算定している病棟における病棟薬剤業務実施加算の評価の在り方について、どのように考えるか。

### 小児入院医療管理料を算定する病棟の病棟薬剤業務時間

○ 小児入院医療管理料を算定する病棟は、20時間以上の病棟薬剤業務を実施している施設が多い。



#### 診療側意見【医師委員】

- 薬剤師の関与による医療従事者の負担軽減、また薬物療法の有効性、安全性の向上に期待しているが、医療機関ごとに業務時間の幅があり、提示された資料では判断しきれない
- 小児病棟における薬剤師の関与は、成人と違って薬剤の使用量も異なるため、専門の薬剤師が管理することで医療の質が担保できると考える

#### 診療側意見【薬剤師委員】

- 小児病棟において、病棟薬剤業務を実施している実態があり、加算の対象として追加することを検討頂きたい
- 地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟についても、同様に検討頂きたい

#### 支払側意見

- 小児医療入院管理料の病棟に薬剤師を配置することで、治療効果が高まるのであれば異論はないが、治療効果が本当に高まるのかを継続的に検証することが必要ではないか

#### MPSコメント

- 小児入院医療管理料における加算の対象拡大については異論はなく、評価の方向で進むのではないかと考えられます
- 地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟の追加については今回の論点としては示されていませんが、診療側（薬剤師委員）が再度要望のコメントを出しており、対象範囲がどこまで拡大されるかは現時点ではわからない状況です



日医工がお届けする **Stu-GE** は、

医療従事者の方のための医療行政情報サイトです。

ご覧頂ける  
テーマ別  
情報一覧

- 診療報酬改定関連の速報情報
- 診療報酬点数の施設基準や算定要件の情報
- 調剤報酬全点数情報
- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の施設基準
- DPC/PDPS関連 新規薬価収載に係る包括評価対象外薬剤一覧  
DPC公開データを用いた各種医療圏分析
- その他医療制度に関する情報

会員登録は、**無料**

いますぐ、会員登録サイトで登録を!!

**会員特典1** メールマガジンの受信

**会員特典2** 会員限定コンテンツの閲覧

スマートフォンで簡単登録

パソコン画面で入力



<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/registrations/index>